



ポスト・パグウォッシュ会議世界大会 公開シンポジウム

核抑止からの脱却を目指して

主催：広島県／へいわ創造機構ひろしま (HOPE)
後援：日本パグウォッシュ会議

参加費
¥0



2025年11月5日(水)
17:00～18:30



広島国際会議場
地下2階 ダリア①
(広島市中区中島町1-5)

同時通訳あり
オンラインでライブ配信予定

核兵器の保有を背景とした威嚇や、急速な核戦力の増強、核兵器国間における緊張の高まりなど、核兵器を巡る国際情勢は極めて厳しいものとなっております。

本シンポジウムでは、パグウォッシュ会議をはじめ、核軍縮分野で、長年にわたりグローバルに活躍してこられた、著名な科学者お二人をお招きし、核抑止が失敗したら何が起ころのかなど、核兵器保有国とその同盟国が、安全保障の基盤として依存する核抑止力に内在する課題について検証したうえで、どうすれば核抑止に頼らない安全保障システムが構築できるのか、皆様と共にできるだけ具体的に考えてみたいと思います。



参加申し込みは、こちらから。(締切: 10/31 金曜日)
イベント情報はウェブサイトですべて随時更新していきます。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace80/postpugwashsymposium.html>

お問い合わせは「へいわ創造機構ひろしま」まで
TEL 082-513-2366 (事務局: 広島県平和推進プロジェクト・チーム)

プログラム

17:00 – 17:05 **開会**

17:05 – 17:15 **問題提起**

◆湯崎英彦 広島県知事

17:15 – 17:45 **パネリストによる発表**

◆アナ・マリア・セト・クラミス博士

◆フランク・フォン・ヒッペル博士

17:45 – 18:05 **パネルディスカッション**

18:05 – 18:25 **会場・オンライン参加者との対話**

18:30 **閉会**

登壇者



パネリスト

湯崎 英彦

広島県知事／へいわ創造機構ひろしま代表



パネリスト

アナ・マリア・セト・クラミス 博士

・国際原子力機関(IAEA)元副事務局長

・メキシコ国立自治大学(UNAM)物理研究所 特別研究教授



パネリスト

フランク・フォン・ヒッペル 博士

プリンストン大学

科学とグローバルセキュリティプログラム名誉教授



モデレーター

中村 桂子

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)准教授